

令和7年気仙沼市東日本大震災追悼と防災のつどいが開催されました（2025/3/11）

テーマ：震災伝承×防災活動の実践

会場：気仙沼中央公民館（気仙沼市）

URL：<https://www.kesennuma.miyagi.jp/sec/s009/031/20250219085824.html>

2025年3月11日（火）、気仙沼中央公民館において「令和7年気仙沼市東日本大震災追悼と防災のつどい」（主催：気仙沼市、後援：東北大学災害科学国際研究所）が開催されました。気仙沼市では、それまで行っていた追悼式を2022年から「追悼と防災のつどい」とし、犠牲者を追悼するとともに「防災を学ぶ場」と形を変えての開催となっています。

当研究所からは、栗山進一所長・教授（災害公衆衛生学分野）が講師として基調講演を、佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）がトークセッションのモデレーターを務めました。

今回の防災のつどいでは、「震災伝承×防災活動の実践」をテーマに、はじめに栗山所長・教授より「あの日とともに生き、次なる巨大災害に備える」の演題で講演、震災伝承の取組発表では、岩槻佳桜氏（武蔵野大学1年生）より、語り部として震災の記憶と教訓を伝える活動についての取組発表がありました。次に、トークセッションでは、佐藤准教授がモデレーターを務め、栗山所長・教授、鹿折地区自主防災組織本部長の尾形順一氏、防災士の垣下美紀氏を招き、「『防災活動を実践する』を考える」をテーマに活発な意見交換が行われました。

また気仙沼分室では、ブース展示も行い、多くの方に足をとめていただきました。訪れた多くの方から、震災の出来事を伝えていく大切さと、それぞれの防災意識を高めていくことの大切さを再認識する機会になったとお話していただきました。

当日は、防災のつどいには約300名の方が参加し、盛会のうちに終わりました。この様子は、YouTubeにてアーカイブ視聴できますので、ぜひご覧ください。

(<https://www.youtube.com/live/VIFMCwvTAVM>)



防災のつどい会場



基調講演
栗山進一所長・教授



震災伝承の取組発表
岩槻佳桜氏



トークセッション①



トークセッション②



展示ブース

文責：江畑 由紀（気仙沼分室スタッフ）
担当教員：佐藤 翔輔（防災社会推進分野）